

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

1. 学校教育の充実

教育研究所費

事業費・・・269千円

担当課・・・教育総務課

県内各教育研究所と密接に連携を図りながら、教職員の研修を助成し、教育現場に直結する問題の研究説明と資料の作成提供・活用に努め、本市教育の振興に寄与するための事業です。研究部員は、玉名市の各小・中学校の教職員概ね87名から構成し常に実践の上に立った研究を行い、教育に対する社会の要請をとらえながら、問題意識を高めて、よりよい教育現場の実践者になるための研究を行います。

特色ある学校づくり事業

事業費・・・1,200千円

担当課・・・教育総務課

玉名市内の児童生徒の学力向上及び健全な心身の育成を図るため、学校及び地域の実態に即して実践的に研究を推進し、その成果を発表することなどにより、市内の教育振興に資するため補助金を交付しています。

適応指導教室指導員活用事業

事業費・・・2,998千円

担当課・・・教育総務課

中学生によるいじめや不登校、問題行動は、学校や家庭だけでなく深刻な社会問題となっています。これらは、子どもたちの人格形成上はもちろん、命にもかかわる深刻な問題であり、緊急かつ適切な対応が求められています。

いじめ・不登校等の解決のためには、生徒同士や生徒と教師との信頼関係の確立が大切であるとともに、学校で子どもたちが楽しく伸び伸びと生活し、学習に落ち着いて取り組めるようにすることが重要です。

そのために、生徒が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげ、心にゆとりを持って学校生活を送れるよう、諸活動の支援を行う第三者的な存在として「適応指導教室指導員」を各中学校に配置し、相談及び集団活動に参加できるように自立を促し学校生活への復帰を支援します。

学校図書の実充実

事業費・・・33,400千円

担当課・・・教育総務課

児童生徒に豊かな心を育み、確かな学力を身に付け、よりよい人格を育ていく上で、学校図書室の果たす役割は大変大きいものです。

このため、玉名市においては、各小・中学校の図書を増やし、学校図書室の実充実を図るため、図書室補助員を配置します。



図書室補助員18名配置

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

特別支援教育支援員の配置事業
事業費・・・36,216千円

担当課・・・教育総務課

支援が必要と思われる児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立ち、児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うため、特別支援教育支援員を配置します。

特別支援教育支援員 22 名配置

放課後子ども教室推進事業
事業費・・・947千円

担当課・・・生涯学習課

地域の方々の参画を得て、すべての子どもに放課後の安全で安心な活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や学習活動を行います。



放課後の体験活動の様様

学校施設整備事業
事業費・・・46,385千円

担当課・・・教育総務課

学校施設は、子どもたちの生活の場であるとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割を担っており、老朽化した校舎などの建替えや改修工事を行っています。今年度の主な事業としては、昨年度の耐力度調査に於いて、改築要件を満たす建物となった滑石小学校の特別教室の実施設計と玉南中学校の体育館の耐力度調査を実施します。



平成 21 年度に完成した玉名町小の体育館とプール

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

2. 社会教育の充実

生涯学習基盤の整備

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・67,000千円

現代社会においては急激な情報化や国際化、高度な技術革新など環境の変化に対応し、人間性豊かな生活をおくるための新たな学習活動が必要となっています。

このような中で、生涯にわたりゆとりと生きがいを持って豊かで充実した生活をおくり、自分の個性や能力を伸ばすことができるよう、拠点機能を備えた生涯学習施設・設備の充実を図ります。

また、様々な学習活動との出会いを提供し、市民一人ひとりの生涯学習に対する意欲の高揚と、生涯学習への参加の促進を目的に生涯学習フェスティバルや各種公民館講座を開催します。

生涯学習フェスティバル、公民館講座経費・・・3,810千円

公民館運営費・・・53,290千円

自治公民館施設整備費補助金・・・9,900千円



生涯学習フェスティバルでの舞台発表

図書館運営事業

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・81,419千円



玉名市民図書館の様子

「市民と共に学び育てる図書館」を基本に、人格形成の基礎作りをはじめ市民の方が図書館に楽しく来ていただくよう努めています。蔵書の充実を図るとともに、システム等の導入による効率的な運営、市民へのサービス向上に努めています。

またシステムの統合により、玉名市民図書館、岱明図書館、横島図書館、天水図書室のどの館も共通して利用ができます。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

人権教育・啓発事業

事業費・・・3,218千円

担当課・・・生涯学習課

人権啓発課

様々な人権問題の解決を自らの課題としてとらえられるよう、一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる「命の教育」を推進します。

また、同和問題を人権問題の基本としてとらえ、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図るため、講演会や研修会などを開催します。



人権教育研究大会の時の啓発パネルの様子

人材育成基金助成金

事業費・・・1,500千円

担当課・・・地域振興課



男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業国内派遣研修の参加に対して助成

玉名市の未来に向け、社会の各分野において指導者となる人材を育成する事業に対し、助成を行います。

1. 助成対象事業

- ①教育、文化、環境、福祉、産業等の振興に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催
- ②地域づくりの推進に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催

2. 助成対象者

- ①玉名市に在住する個人
- ②玉名市に事務所等を有する団体又はグループ

3. 助成額

助成額は、対象経費の総額から国・県等の助成額を除いた額の2分の1以内で、限度額は次のとおりです。

- ①海外研修 1人につき10万円、1団体等につき50万円
- ②国内研修 1人につき5万円、1団体等につき25万円
- ③研修会等の開催 1件当たり20万円

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

3. 社会体育の充実

社会体育施設の充実

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・73,778千円

【主な事業】

体育施設の管理

スポーツを通じて、心身ともに健康なからだを保持することは市民共通の願いであり、健康づくりや体力づくりに励む市民を育てることは社会体育の大切な役割であります。玉名市においても市民が自ら運動に親しみ、スポーツを愛し、健康で活力ある生活を営む環境づくりを進めています。また、社会体育施設の充実を図るため、体育館やグラウンド等の管理体制の整備と、施設の修繕・改修について年次計画を立て、検討していきます。



子どもたちで賑わう B&G 海洋センタープール



桃田運動公園内にある玉名市総合体育館

生涯スポーツの推進

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・22,762千円

【事業の内容】

・スポーツ大会補助金

玉名市では金栗杯玉名ハーフマラソン(日本陸連公認コース)や市民マラソンとしては県内一の人気を誇る横島いちごマラソン、天水みかんと草枕の里スポーツまつりほか地域の街興しも兼ねたスポーツイベントが数多くあります。玉名市民はもとより広域の皆様にも参加頂き、思い出に残るようなイベントを行います。

・市民スポーツの振興

生涯スポーツを推進するため各種目のスポーツ大会やイベントを開催します。



金栗杯玉名ハーフマラソン



支館対抗駅伝大会

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

社会体育の組織の強化と指導者の育成
事業費・・・9,095千円

担当課・・・生涯学習課

【事業の内容】

・社会体育の組織強化と指導者育成

体育協会(各種目)と連携を深め、選手育成やスポーツ指導者の資質向上を図ります。また、各校区の体育指導委員とともに、多くの住民が参加しやすいスポーツ行事の企画立案や地域に根ざしたスポーツ及びファミリースポーツの普及振興を図ります。

・県民体育祭への選手派遣

熊本県民体育祭荒尾大会が平成22年9月18～19日(土、日)に荒尾市各会場にて開催されます。玉名市は昨年総合4位を上回る成績を目指し、選手の育成に努めます。



熊本県民体育祭八代大会

4. 文化・芸術の振興

歴史・文化施設の充実

事業費・・・46,920千円

担当課・・・文化課

玉名市には貴重な歴史的遺産が数多くあります。このすばらしい文化財を、史跡等の保存整備や公開などその保護と活用に努めています。

【主な事業】

・玉名市歴史博物館ころろピア(23,110千円)

博物館の利用促進のため、常設展示などリニューアルを検討し利用の強化を図ります。

また、様々な企画展、催し物、体験学習を開催し教育普及の拠点として利活用を図ります。

・指定文化財管理委託(1,137千円)

国、県及び市指定文化財の維持管理を行います。

・指定文化財誘導標識設置業務委託(2,114千円)

市内外から訪れる方々へ文化財の所在を分かりやすくするため誘導標識の設置を行います。



市指定文化財誘導標識の設置



皆既日食観覧会(体験学習)

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

市民文化活動の振興

事業費・・・2,954千円

担当課・・・文化課

市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図るとともに文化団体などへの支援を行い、文化芸術に対する理解と愛着心を育みます。

【主な事業】

市民文化祭の開催 事業費 1,514 千円



市民文化祭市民作品展示

無形文化財、伝統芸能の支援

事業費・・・910千円

担当課・・・文化課



大野下雨乞い奴踊り

地域に残る優れた伝統芸能を後世に継承するため、保存団体とともに積極的に後継者育成に取り組むとともに、歴史や文化を学ぶ教育の素材とするほか、神楽、梅林流鎗馬、築山花棒踊り、大野下雨乞い奴踊り等の伝統芸能文化の保存のための補助を行います。

5. 国際交流の推進

外国青年招致事業（ALT）

事業費・・・31,812千円

担当課・・・教育総務課

市民が国際化社会に対応できるよう、語学力の向上、国際感覚の習得、国際理解を深めていくために、外国青年（Assistant Language Teacher）を招致し、各種事業で活用します。



外国人講師による授業風景

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

国際交流活動の推進

事業費・・・7, 255千円

国際交流活動の推進及び団体活動への支援
4, 014千円

姉妹都市・クラリダ市公式訪問団派遣事業
3, 241千円

担当課・・・企画経営課



五名国際交流協会交流会の様子

国際交流活動を推進し、国際化の時代にふさわしい豊かな人間形成を図ります。

1. 主な国際交流団体への支援

①玉名国際交流協会・・・1, 000千円

②グレン・ミラー音楽祭・・・1, 500千円

③国際交流奨励補助・・・1, 000千円

※玉名市に在住する者で、国際交流の促進のために国際交流に関する事業又は活動を行うものに対し1人当たり2万円(ただし1団体は25人を限度)を補助します。

2. 姉妹都市・クラリダ市公式訪問団派遣事業

玉名市とクラリダ市(アメリカ合衆国)は、グレン・ミラーの音楽を通じた交流を機に姉妹都市を結び、これまで音楽を通じた交流を続けています。本年6月クラリダ市へ公式訪問団を派遣し姉妹都市としての友好を深めます。

6. 「音楽の都 玉名」づくり

玉名市民音楽祭

事業費・・・1, 900千円

担当課・・・文化課

玉名市民音楽祭は、「音楽」による癒し、高揚感、連帯感が、玉名市をもっと楽しい、住み心地の良い場所にし、また、音楽のあふれる都として、内外に認知され、多くの人が集う場所となっていくことを期待して開催しています。

今年度で第4回目を迎える市民音楽祭も、立上げから出演まで市民が参加する機会をつくり、音楽の裾野を広げたいと考えています。

また、この音楽祭をきっかけに誕生したキャラクター「タマにゃん」も市民の共通の財産として育てていきます。



タマにゃん

(音楽の都たまなイメージキャラクター)



昨年の玉名市民音楽祭の様様